



1. BA 運営委員会の書面手続が終了

東日本大震災の影響で5月に予定されていたBA運営委員会が中止となったため、日欧政府の合意の下、書面手続が進められて来たが、7月19日付で完了し、各事業の年次報告、事業計画、IFERC事業チーム体制などが承認された。また勇退したIFMIF/EVEDA事業長のバスカル・ギャラン氏を引き継ぐ暫定事業長として原子力機構の松本宏氏が指名された。

2. 原型炉 R&D 棟の RI 使用許可がおりる

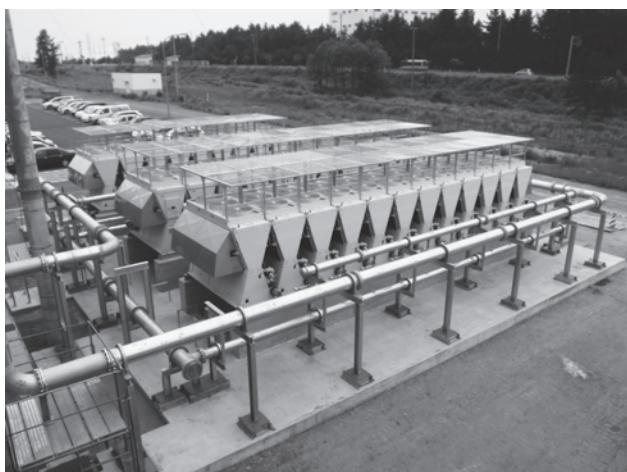
3月末に文部科学省に提出されていた放射線障害防止法に基づくRI使用許可申請書の審査が終了し、7月7日付けで文部科学大臣から原子力機構理事長に許可証が発行された。東日本大震災の影響で原型炉 R&D 棟への RI の搬入スケジュールは多少遅れ、最初の搬入は今年の10月頃となる

予定で、それに向けて放射線管理区域の設定準備を進める。

3. 高性能計算機の設置のための日欧技術会合の開催と計算機・遠隔実験棟の工事の進捗状況

4月初旬から開始されている計算機・遠隔実験棟における高性能計算機（スーパーコンピューター）用の電源・冷水供給設備等の設置のための準備工事の状況の確認と今後欧州が行う高性能計算機とその付帯設備の搬入、設置、調整等の手順などを議論するための技術会合が7月4-5日に六ヶ所の計算機・遠隔実験棟などで開催された。

今回は日本が調達する冷水供給設備と、電源設備および内装工事との詳細な取り合いを確認するとともに、Bull社およびその協力会社として様々な作業を行う日本SGI社の詳細な搬入、据付などの作業の進め方について協議さ



2.4 MW の冷却能力を持つ冷凍機



ポンプ、ヘッドがそろった冷水供給設備



ケーブルの敷設が進む機械室



2階計算機室 I で計算機用の冷却配管敷設作業中

図1 計算機・遠隔実験棟の工事の状況

れた。さらに、Bull社が高性能計算機の立ち上げ、試運転、調整等に使うネットワークや、最終的にユーザーが高性能計算機にアクセスするために接続する高速ネットワークの整備工程についても、検討、協議が行われた。

一方、計算機・遠隔実験棟の計算機室および計算機補機室の工事については、内装工事が7月13日で完了、2階の計算機室は2つに分割する区画壁や保守・補修用のリフターとその部屋、空冷用の12個のエアハンドリングユニット等が設置され、かなり様相が変わった。また、1階の計算機補機室並びに北側の屋外基礎にも、冷水供給設備や電源設備のユニットが据え付けられ、天井のケーブルトレイや冷水配管の配置、断熱材の取付けなどが行われた(図1

参照)。7月末までに大物の搬入、据付がほぼ完了し、6割方の進捗状況となる。

4. 第2回原型炉設計プラットフォーム会合を開催

第2回原型炉設計プラットフォーム会合が6月22-23日に国際核融合エネルギー研究センターの管理研究棟で開催された(図2参照)。メーカー5名を含む所外25名、所内29名の参加があり、核融合動力炉に向けたトカマク、ヘリカル、レーザー炉の主要要素の技術成熟度(TRL)評価について、活発な議論が行われた。この議論はプラズマ・核融合学会誌小特集としてまとめられる予定である。

(日本原子力研究開発機構核融合研究開発部門)



図2 第2回原型炉設計プラットフォーム会合の様子(6月22日、国際核融合エネルギー研究センター管理研究棟にて)

青森温泉巡り

やち 谷地温泉 — その3 八甲田山中の秘湯 —

日本三秘湯のひとつ、八甲田山系に抱かれた開湯400年の一軒宿です。ブナ林を抜け、高山植物が自生する谷地湿原のそばに、山小屋風の建物がひっそりと佇んでいます。

湯船の真下から湧き出る38℃のぬる湯の霊泉と、42℃の白濁の硫黄泉の二つの浴槽があります。ぬる湯に30分、その後、硫黄泉に10分入るとするのが正しい入浴法とされていますが、地元の人たちは、1時間でも2時間でもぬる湯に浸かっているのです。

特筆すべきはその低料金。365日同一、1泊3食付6800円です。3食という意味は、お昼までいけば昼食も出るということ。さらに、冬場はこの値段で、生ビールや日本酒などの飲み放題がつきます。

東日本大震災で東北地方全域が停電した時でも、自家発電設備を持つ谷地温泉では、普段どおりに電気がつき、暖

房が入り、そして美味しい食事と飲み放題が付いて普段と同じ値段でした。



盛夏の谷地温泉。八甲田山系の高田大岳への登山口となっている。
(HP:<http://www.itoenhotel.com/hotel/yachi/>)